

戦 評

大会名 平成22年度全日本6人制バレーボールクラブカップ選手権大会
岩手県予選会

男子 ・ 女子 準決勝 ・ 決勝

MASTERPIECE 2 { 25 — 17
25 — 16
— } 0 岡崎建設Owls

試合時間 0 時間 42 分

主 審 多田 直樹

副 審 大山 幸司

戦 評

決勝は10年連続優勝を狙うMASTERPIECEと、4月の一般選手権でMASTERPIECEを破り優勝、さらには5月の天皇杯でも優勝し勢いに乗っている岡崎建設Owlsの対戦。

1セット目序盤、MASTERPIECEは佐藤のサービスエースで勢いに乗り、8対4とリード。

その後も相馬・高橋(賢)を中心に攻め続け、終始リードする展開。岡崎建設Owlsも清水のバックアタックなどで応戦するが、MASTERPIECEが押し切った。

2セット目に入ってもMASTERPIECEの勢いは衰えず、高橋(賢)のサービスエースやバックアタックで3連続ポイントでリードすると、安定したレシーブからの速攻も冴え、このセットもリードを広げる。岡崎建設Owlsも清水を中心に反撃するが流れを変えることができず、終始攻めきったMASTERPIECEが10年連続10回目の優勝を決めた。

7～10行にまとめること。

戦評者 千葉 精一

岩手県バレーボール協会
審判委員会

戦 評

大会名 平成22年度全日本6人制バレーボールクラブカップ選手権大会
岩手県予選会

男子 ・ 女子 準決勝 ・ 決勝

ZERO 2 { 25 — 7 } 0 リトルウィッチーズ
25 — 7
—
試合時間 0 時間 34 分

主 審 小野寺 太

副 審 石川 義明

戦 評

2年連続同じカードとなった決勝戦。連覇を狙うZEROは、セッター小田の巧みなトスワークによりリズムを掴むと、センター今野・水本の高さのある攻撃で波に乗り1セット目を先取。

第2セット、なんとか昨年の雪辱をほらしたいリトルウィッチーズは、レフト津志田にボールを集めるがZEROの高いブロックに阻まれる。逆にライト若林の力のあるスパイクで一気に走り出したZEROは、その後もレフト阿部の強弱のある攻撃や好サーブでリトルウィッチーズを崩し、このセットも一気に相手を突き放し2連覇を果たした。

7～10行にまとめること。

戦評者 紺野 美穂

岩手県バレーボール協会
審判委員会